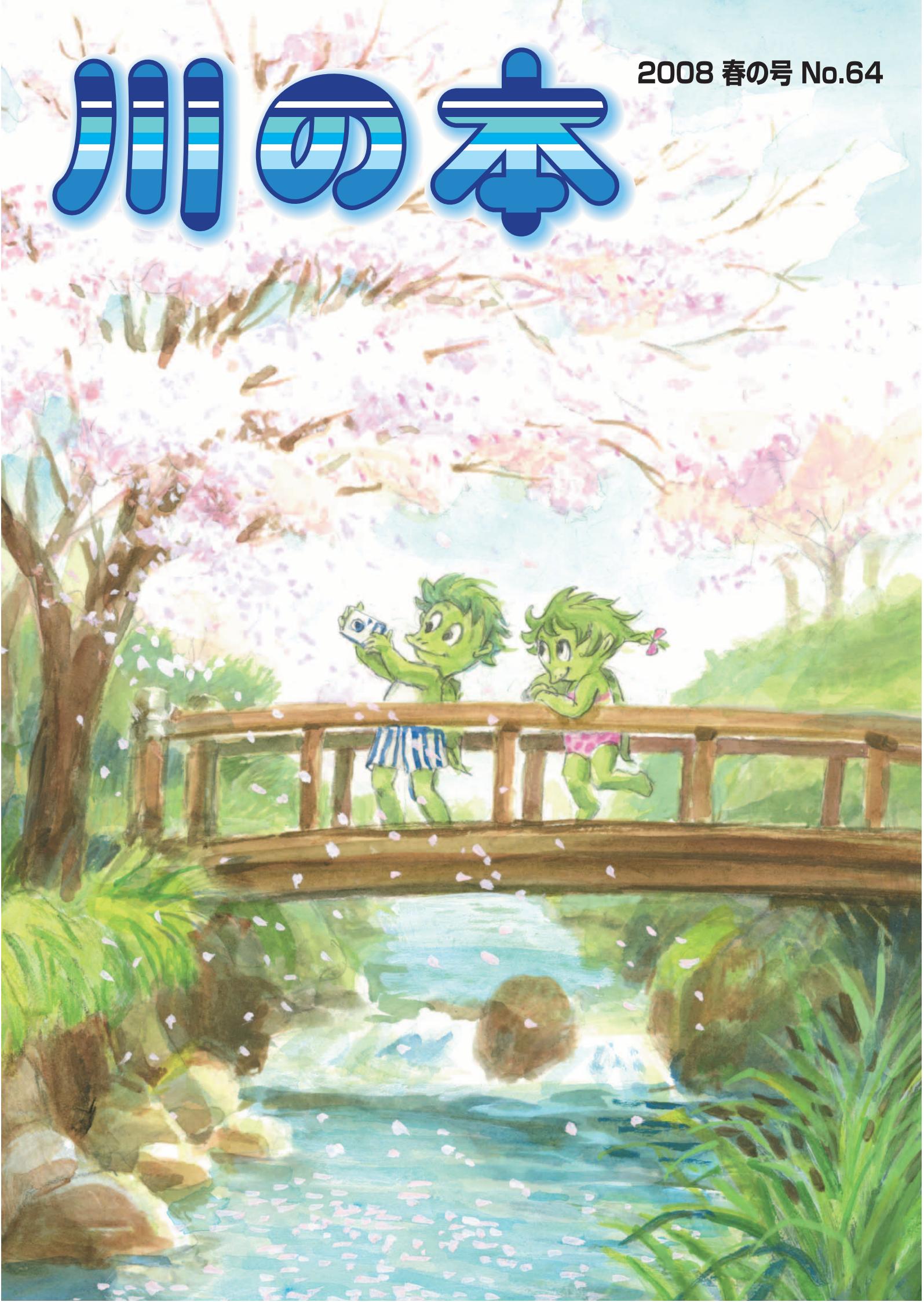


# 川の本

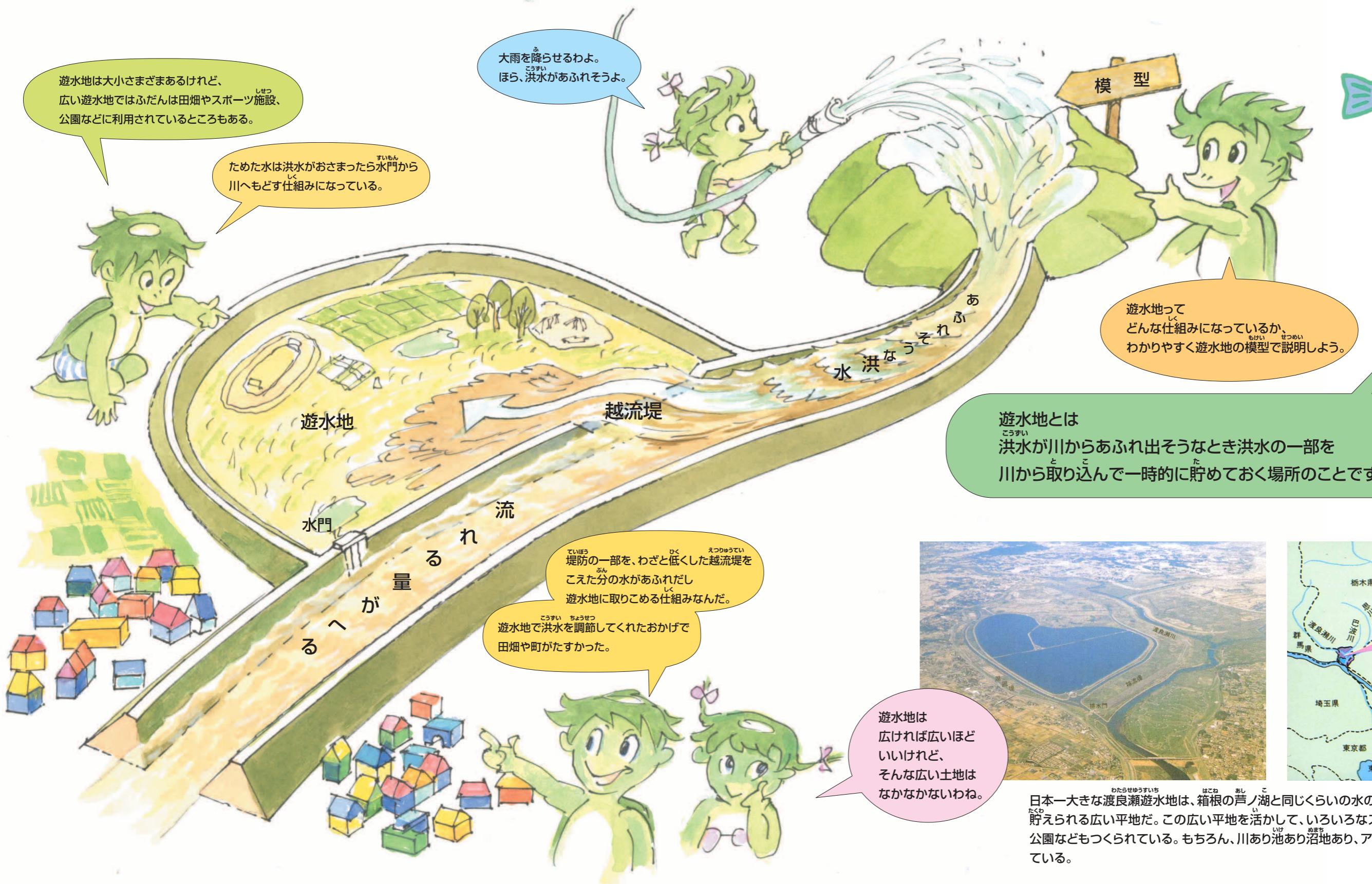
2008 春の号 No.64





# 遊水地って どんなところ?

遊水地とは  
洪水が川からあふれ出そうなとき洪水の一部を  
川から取り込んで一時的に貯めておく場所のことです。



日本一大きな渡良瀬遊水地は、箱根の芦ノ湖と同じくらいの水の量約2億トンも貯えられる広い平地だ。この広い平地を活かして、いろいろなスポーツ施設や公園などもつくられている。もちろん、川あり池あり沼地あり、アシ原がひろがっている。

**遊水地の紹介**

全国に遊水地は、大小さまざま、たくさんありますが、その一部を紹介します。

六角川 九州 旧中国 寝屋川 恩智川 木津川 近畿 利根川 関東 東北 北海道

巴川 庄内川 鶴見川 荒川 最上川 北上川 阿武隈川 石狩川 鉾路川 留萌川 石狩川 鉾路川 留萌川

牟田辺遊水地 浜坂遊水地 上野遊水地 小田井遊水地 鶴見川多目的遊水地 渡良瀬遊水地 稲土井調節池 母子島遊水地 浜尾遊水地 荒川第調節池 大久保遊水地 大和田遊水地

**カッパの楽校**

水を遊びながら洪水の勢いを弱めさせた信玄の「霞堤」

霞堤は図のように、川の両岸に流れに対して逆八の字の堤を、それ一部が重なるように何段にもわたりて築かれています。大きな洪水が起きたとき、切れているところから水が逆流し、あふれることによって洪水の勢いを弱めるのです。

あふれた水は洪水が弱まるところに川へもどる仕組みです。

霞堤は図のように、川の両岸に流れに対して逆八の字の堤を、それ一部が重なるように何段にもわたりて築かれています。大きな洪水が起きたとき、切れているところから水が逆流し、あふれることによって洪水の勢いを弱めるのです。

霞堤は図のように、川の両岸に流れに対して逆八の字の堤を、それ一部が重なるように何段にもわたりて築かれています。大きな洪水が起きたとき、切れているところから水が逆流し、あふれることによって洪水の勢いを弱めるのです。

# 大和の姫龍と大龜

やまと

ひめりゅう

ねおがめ

声をかけあつた姫龍たちはねたがつの無事を知りよひじゆめした。

大阪府・奈良県 大和川

「あれにしてや、ひどく風だった」と、仲間たちは無事かっこい

「ト」せ「にかこまれた盆地だけれど、ついだけ海上にいる谷間があるわ」

はるか大昔のいと、大和の国(現在の奈良盆地)に、らやさしくねいなしふの龍の一族がすんでじまつた。そのなかに初瀬姫と佐保姫と名乗る仲良しの姫龍がおりました。大和の国は、四方をおだやかな山地にかこまれた盆地です。「他の草原に雁やサギが飛びかいのじかな里でした。

ある年のいと、この里が激しい嵐に襲われました。たたきつかるような風雨がじりじりと、口日晚やすむとなくつづき、広々草原も見る見る荒れ狂う泥海になってしまった。姫龍たちはじめにいかが。

そんな嵐もやがては去ります。向日かして、やつと天気は回復しましたが、まだあたりは泥海のままです。その中から何匹かの龍がおそるおそる首をだし始めました。

「初瀬姫さまあ、私はいとよ」  
「佐保姫さまあ、ひめりゅうの」  
「初瀬姫さまあ、私はいとよ」

ふたりの姫龍はやれつて大龜に水の通り道をあけてくれるのみに行きました。なんどなんど頭を下げてたのめました。

しかし大龜は意地悪そうに薄笑いしながら、「ふふふ、ダメだねえ、動くなとておひがいや、動かせるもとながり動かしてみりや、やせつけの姫龍たちはじやあどひこせなあもこん、ひかひと帰れ帰れ」と馬鹿にして姫龍たちをおこかえしました。

帰った佐保姫は悔しくて涙をこぼしましたが初瀬姫はおもひぬません。

「大龜だときに馬鹿にされてなるものですか、私たすだつて大和の龍よ、一族の力をあわせれば負けんはずはな」

姫龍たちはさう一族の龍たちを集めていました。

「私たちは、おとなしく龍といわれてきたけれど、あんな意地悪な大龜をほつておくれにはつきません。私たち大和の龍一族の力で大龜をこりしめてやりましょ」

「やうだそうだ、大和龍一族の本当の力を見せつけいやる」と集まつた龍たちは手をつけなき身体をよせあって、あゆだ縄をなうよつてよじれ合つた。



がりの身體にまよひましたのでした。

この中にか口は落ちて、あたりはすりかり暗くなつてしまつたが、

ときのむ雲間から口の光がいりこじてしまつた。

一方、姫龍を追い返した大龜はいゝ氣になつて、

「大和の姫龍などちよひこよひて、の大龜をまじびひて帰りよつたわい、わしをじかせる者などいるわけがない」

と、口やしながり震えびつて、狭い谷間をふさごでしまつた。

その時でした、谷間の奥のぼりかゝる無気味な物音が響いてしまつた。ドジドジ、ヒヒヒヒ、がががつ、響きせじと近づいて来ます。

「なんじやつ、何じとじやつ」

と大龜が首をもたげると、ついに大変身した大和龍が、のしかかるよつぱ勢いで迫つてくるではありませんか。そのわじことと、剣のような角、鋭い牙、胴体のウロコは

野(大阪平野)を横切つて、泥水とともに海へと出て行きました。

おかげで、大和の里はやじじおりの姿になりました。姫龍や龍一族も、また仲良くさすがの大龜も腰を抜かすほどびっくりしました。

「つひやあ、なんじつたあ、た、たすかくれえ」

大龜は、あわてふためきながり土の中にやぐりこんで逃げました。

大和龍はその上を押しつぶすよつぱりと乗り越えて、谷間をぬけ、河内平野(大阪平野)を横切つて、泥水とともに海へと出て行きました。

といひが困つたことに土の中に逃げ込んだ大龜は、なんと、まだ生きてござりしれ、大龜のいた谷間は亀の瀬と呼ばれるようになりました。

といひが困つたことに土の中に逃げ込んだ大龜は、なんと、まだ生きてござりしれ、今じや、時々うじめつて土砂くずれをおこし、亀の瀬を埋めよつて、たぐりでこれりこれのだか。いねづ、いねづ。



このお話を、奈良県から大阪府にまたがつて流れる大和川をモチルにして、洪水の姿を民話風に新しく創作したものです。奈良といえば、平城京や法隆寺などで有名な日本の古都です。この古都の暮らし(生活用水や舟運)を支えてきた川こそ、お話を登場した龍一族の力で大龜をこりしめてやりました。姫龍にたとえられた初瀬川を中心にして、佐保川をはじめ何本もの支流が一本の大和川となり、亀の瀬を出ると河内平野を横切つて大阪湾にそそいでいます。(地図参照)

しかし昔は、亀の瀬をたた大和川は西に流れ、度々洪水の被害をおこしていました。現在の大和川(全長68キロメートル)の下流部分は江戸時代に付け替えられたものです。とにかく、現在も亀の瀬には、広範囲な地滑り地帯があります。大規模な工事が今も続けられています。お話を大龜はこの地滑り地帯を表現した創作で、亀の瀬の地名の由来伝説とはあります。

# 河川公園へ行こう

河川公園は川によって大小さまざまだけど  
どの公園もみんなの憩いの広場だ。  
さあ、近くの川の河川公園をみつけて出かけよう。

## 河川公園で遊ぶときの注意

### マナーを守ろうね

- ゴミのポイすてはマナーに反します。公園内に  
もちこんだゴミは必ず持ちかえろう。
- 犬の散歩は引き綱をつけて、粪の始末も忘れ  
ずに。
- 公園のカンパンには目を通しておきましょう。
- 公園内は火気厳禁です。バーベキューは指定の  
場所でしかできません。
- 公園へ行くときは、大人の人につきあってもら  
おう。



### 施設利用にあたって

- 野球場やサッカー場、テニスコート等  
の施設がある公園では、利用するにあ  
たって事前に申し込みが必要です。各  
管理所やサービスセンターへ問い合わせ  
してください。



川辺の自然は  
大切にしてよ  
う汚さないでよ

大人はお花見  
ぼくはスポーツ  
わたしは自然観察  
ちびちゃんは幼児広場  
遊び方はいろいろよ



# 川の仲間たち

## ネコヤナギ ヤナギ科ヤナギ属

わたしたちはネコヤナギ。なぜそういう名前がついたか知っています？

それは春が近づくと、ふくよかで、やわらかい銀白色の尾状の花穂（かすい）をつけ、この花穂に密生する絹のような毛をネコの毛にみたてて、ネコヤナギの名がついたのよ。

全国各地、川の上流から中流域の流れがある所が好きで、そこに深く根を張り群生するの。ネコのようなしなやかな茎や枝は、自然護岸となつて洪水から川岸を守っているの。それだけじゃないよ。川面の陰には魚たちが休みにくるし、川原に集まる鳥たちのねぐらにもなっているよ。このようにいろんな生物の生息場となって、川の自然を守る役目もしているのよ。



財団 河川環境管理財団

Foundation of River & Watershed Environment Management

(〒103-0001) 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9  
住友生命日本橋小伝馬町ビル (2F・3F)  
TEL (03) 5847-8302 (企画調整部)  
FAX (03) 5847-8308 E-mail:info@kasen.or.jp